

国語科学習指導案

- 1 単元名** 「作品から読み取ったことについて考えをもとう」
～他者との交流を通して自分の考えを深める～

2 単元の目標

- (1) 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 [知識及び技能] (3) オ
- (2) 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 [思考力、判断力、表現力等] C (1) エ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、わが国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

3 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ((3)オ)	①「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもとうとしている。 (C(1)エ)	①進んで自らの考えを持ち、学習課題に沿って、『故郷』から読み取ったことについて意見を共有・比較し、人間や社会などに対する考え方を深めようとしている。

4 単元について

- (1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元は、作品から学んだことについて意見を形成し、交流を通して精査を行う、という言語活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）の第3学年、2〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むことの言語活動例イ「詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことを伝えあったりする活動。」を踏まえている。

教材として、「国語3」（光村図書）に載っている『故郷』（P. 98～）を取り上げる。本作品は、中国の作家魯迅の近代文学を代表する短編小説である。20世紀前半の中国を舞台としており、当時の時代背景や社会情勢を知らずして、現代の中学生には内容の理解に困難を強いられる場面が散見される。しかし、登場人物の緻密な心情変化や行動、訳者である竹内好さんの繊細な描写など、作品と真摯に向き合うことで見つけられる本作品の文学的価値は多い。さらに、作者による社会の在り方への痛切な批評を通して、生

徒自らも「人間、社会、自然などについて」改めて自分の意見を持つことができると考えられる。

今回は、『故郷』から学んだことについて、自らの意見を形成し、学級内で交流を行いながら思考を深めていく、という活動を行う。本作品の結末については、非常に多様な捉え方ができるものだと言える。当時の状況に変革を起こし、明るい未来へ進む契機としての作品、当時の状況を嘆き、警鐘を鳴らすための作品など、多くの捉え方ができる。特に、「希望」についての描かれ方に着目することで、より深い読みを行うことができると考えられる。教科書P. 111にはこの言葉が何度も登場するが、これは階級制度に縛られず仲良く遊ぶ子どもたちの姿を見て、「若い世代」への期待をこめて放たれた言葉である。しかし、それは「もともとあるものともいえぬし、ないものともいえない。」とあるように、「私」の中でも決して確固たるものではない。このような、読み方によって解釈が異なる部分は、どのような理由によって意見を形成するかが重要となってくる。

本時の活動へつながるものとして、第2～4時では、観点に沿って作品を読み進めていく。第2時は、回想場面と現在の場面のルントウを比較し、その変化をまとめる活動を通して、階級制度や身分の差が生む人間や人間関係の変化を捉えさせる。また第3時には、回想場面と現在の場面における故郷の情景描写を比較する活動を通して、故郷に住む人々や、20年振りに帰郷した「私」の変化を捉えさせる。そして第4時で、「私」の故郷に対する思いについて考える活動を通して、「希望」や「道」、「新しい生活」など、帰郷によって変化していく「私」の様々な思いについて読みを深めさせる。

本時では、これらの読み取りをふまえて、『故郷』という作品から読み取ったことについて自分の意見を形成する活動を行う。多様な解釈ができる本作品において、自分の意見を形成することは容易ではない。また、学級内での意見の共有・比較を通して、他者の意見を取り入れて自分の意見を形成する機会を設ける。深い読みができた生徒には、自らの生き方にまで言及させたい。

対面活動の制限がある中での意見交流の手立てとして、ギガタブ（タブレットPC）を活用する。Google「classroom」内で課題を提出し、生徒はそこに添付された「フォーム」に意見を入力する。フォームは集計した回答を表計算ソフト「スプレッドシート」に一覧で変換することができる。また、スプレッドシートは複数人で一つのファイルを同時に閲覧できるため、今回はその機能を利用し、学級共有のスプレッドシートを作成して、そこから生徒が級友の意見を自分の考え取り入れることによって交流を図る。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、作品から学んだことについて意見を形成し、交流を通して精査を行うという言語活動をとおして、〔思考力・判断力・表現力等〕のC(1)「エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ」力を身に付けさせたい。学習指導要領解説によると、「文章に表れているものの見方や考え方や比べたり、他者の考えと比べたりすることによって」自分の考えが広がり、深まっていくとされる。さらに、中学校3年生という段階においては「社会生活の中の様々な事象について、より広い視野をもって自分の意見を形成することができるようにすることが重要である。」とされている。

観点ごとに内容を読み進め、他者との交流を通じて自らの思考を深めていき、最終的に、作品がもつメッセージについて自分の考えをまとめる。その際、人間としての生き方や、現代社会における在り方など、自らと関連付けて考えさせる。生徒にとっては、国も時代も異なる作品であるが、文学作品がその中で完結するのではなく、自分たちの生活結びついたものであるということを改めて感じさせたい。

(3) (1)の基盤となる言語環境や継続的な取り組み

本学級の生徒は、第2学年の『盆土産』の授業で、「印象に残った場面」を選んで理由をまとめ、グループ内で回覧し、互いに読み合う活動を行った。交流を通して、他者の意見の中から活用できる意見を自分に取り入れる機会を設けた。

そして今年度は、井上ひさしの小説『握手』の授業で、作品の構成を捉えながら登場人物の心情に迫る活動を行った。回想場面が何度も挿入される構造がもつ効果を考え、それがもたらす語り手の心のゆらぎを読み取った。しかし、新型コロナウイルス対策により、学級内での活発な意見交流はほとんどない。そのため、単元を通して自らの意見を見つめなおし、深める活動を行う機会をあまり設けることができなかった。

5 指導と評価の計画 (6時間)

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○作品の時代背景や作者について知る。 ○本文を通読する。		
2	○ルントウの変化について考える。	〔思考・判断・表現〕①	ワークシート
3	○故郷の情景描写について考える。	〔思考・判断・表現〕①	ワークシート
4	○「私」の故郷に対する思いについて考える。	〔思考・判断・表現〕①	ワークシート
5 (本時)	○前時まで読み取ったことをもとに、自分の考えをもつ。	〔主体的に取り組む態度〕① 〔思考・判断・表現〕①	観察 ワークシート タブレットPC
6	○作品が伝えたいメッセージについて考える。	〔知識・技能〕①	ワークシート

【単元の流れ】

時	学習活動	指導上の留意	評価規準・評価方法
1	○作品が執筆された当時の中国の時代背景や社会情勢、作者の魯迅について知る。 ○本文を通読する。 ○単元全体のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをも	・当時の中国の荒廃した状況や、それを変革しようとした魯迅の生き様を伝える。 ・分かりづらいと思われる表現や事柄については適宜解説しながら読む。	〔思考・判断・表現〕 ワークシート ・ルントウの様子について描かれた部分から必要な情報を精査し、抽象化することができるかを確認する。また、断片的な情報をつなげ、文章化することができるかを確認する。

	つ。		
2	<p>○回想場面と現在の場面のレントウを比較する。</p> <p>○レントウの変化について文章にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて観点ごとに整理し、表にまとめさせる。 ・可能な生徒には変化の理由をふまえて書かせる。 	
3	<p>○故郷の風景の描写について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて、時系列を確認しながらまとめられるようにする。 ・情景描写によって生まれる効果や、情景が表す「私」の心情について考えさせる。 	<p>〔思考・判断・表現〕 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細かな色彩表現や複数回登場する言葉に着目し、情景描写の効果や「私」の心情変化について読み取ることができているかを確認する。
4	<p>○「私」の故郷に対する思いについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2・3時の学習内容を想起させ、多くの変化が「私」に与えた影響を考えさせる。 ・「希望」「新しい生活」「道」等の単語に着目させる。 	<p>〔思考・判断・表現〕 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係や情景描写によって生じた「私」の故郷への思いの変化について書くことができているかを確認する。
5 (本時)	<p>○前時までの学習を振り返る。</p> <p>○本時の内容を確認する。</p> <p>○作品から読み取ったことについて、フォームに自分の考えを入力する。</p> <p>○変換されたスプレッドシートを開く。</p> <p>○級友の意見を見て再考察し、フォームに自分の考えを入力する。</p> <p>○classroomに提出する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2～4時で学んだ内容のまとめを確認させる。 ・自分の意見を形成する重要性を伝える。 ・机間巡視を行い、考察が進んでいない生徒に助言する。 	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 タブレットPC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の内容だけについて考察するのではなく、人間、社会、自然などについて自分の意見を形成しようとしているかを確認する。 <p>〔思考・判断・表現〕 タブレットPC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通じて視点が広がり、意見が深まったかを確認する。

6	<p>○作品が伝えたいメッセージについて考える。</p> <p>○単元のまとめを行う。</p>	<p>・前時までに行ってきた活動や作品の背景を想起させる。</p> <p>・文学によって自らの生き方や社会の在り方について考えたことを振り返り、読書の有用性を指導する。</p>	<p>〔知識・技能〕</p> <p><u>ワークシート</u></p> <p>・文学がもつ力について考え、自分の考えが述べられているかを確認する。</p>
---	---	--	---

6 本時の学習（5／6）

(1) 本時の目標

①作品から学んだことについて意見を形成し、交流を通して精査を行うことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕 C（1）エ

②他者との意見交流を通じ、自分の考えがより深まるように作品を読もうとしている。

〔学びに向かう力、人間性等〕

(2)本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価基準・評価方法等
<p>○前時までの学習を振り返る。 ○本時の内容を確認する。</p> <p>○作品から読み取ったことについて、フォームに自分の考えを入力する。</p> <p>○意見を記入したフォームをclassroomに提出する。</p> <p>○変換されたスプレッドシートを開く。 ○級友の意見を見て再考察し、フォームに自分の考えを入力する。 ○classroomに提出する。</p> <p>○生徒の作品をいくつか紹介する。</p> <p>○本時のまとめを行う。</p>	<p>・第2～4時で学んだ内容のまとめを確認させる。 ・自分の意見を形成する重要性を伝える。</p> <p>・自らの生活と結び付けて考えられるとよいことを伝える。 ・机間巡視を行い、考察が進んでいない生徒に助言する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・登場人物の生き方についてどう感じたか。 ・故郷の風景の描かれ方についてどのように感じたか。 ・「私」が言う「希望」や「道」、「新しい生活」について何を感じたか。</p> </div> <p>・時間を決めて回答を集計する。 ・回答が揃い次第、フォームをスプレッドシートに変換する。</p> <p>・自分の考えと近い意見ばかりでなく、自分が全く考えもしなかった意見など、多くの意見に触れさせる。</p> <p>・大型TVに映して学級全体で共有を行う。</p> <p>・多様な解釈ができる作品であり、それがメッセージ性を豊かなものになっていることを伝える。 ・次時は作品のメッセージを考える活動を行うことを伝える。</p>	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕 <u>タブレットPC</u> ・作品の内容だけについて考察するのではなく、人間、社会、自然などについて自分の意見を形成しようとしているかを確認する。</p> <p>〔思考・判断・表現〕 <u>タブレットPC</u> ・交流を通じて視点が広がり、意見が深まったかを確認する。</p>